

第3回 1年国際理解コース模擬授業について

平成30年10月18日（木）

本年度、3回目の1年生国際理解コースの生徒対象の模擬授業が、10月18日（木）に本校国際ルームで行われました。

テーマは、「Globalized World を考える」で、講師は南山大学国際教養学部国際教養学科教授の鹿野緑先生でした。



授業は、基本的にオールイングリッシュの形態で行われました。まず、生徒一人一人の名前を確認し、International や global など聞き馴染んでいるが、言葉の定義を問われると難しいワードについて、先生から説明を受けました。

その後、「グローバル化とは何か」について、その定義、原因、結果を具体的な事例を使って仕分けする作業をグループで行いました。

次に「Food Industry のグローバル化を考える」というテーマで、グローバル化された食べ物や、グローバル展開しているレストランなどをグループでピックアップしました。



最後に、国籍が違う7名が無人島に行ってコミュニケーションを図る際に、どのようなことが起こりうるかを、グループで想像しました。普段とは違う問いの質に驚きながらも、頭の中をフル回転させて全員が一生懸命取り組んでいました。

まとめの言葉として、バイリンガルの人たちの社会における立場を考えてみようという、今後の課題をいただいて授業を閉じました。

生徒達は、アクティブ・ラーニングの実践を経験できた貴重な時間となりました。

これで3回にわたる1年国際理解コースの模擬授業は終了ですが、3回の授業が密接に連携しており、生徒達の国際理解に対する認識は大いに高まりました。

